

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 4 年 5 月 12 日

静岡県知事

川勝 平太 殿

提出者

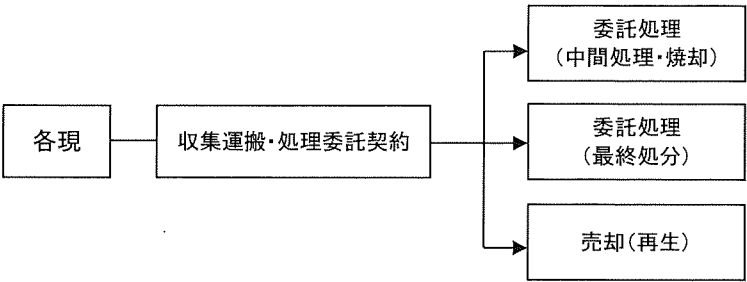
住 所 静岡県沼津市大諏訪 885 番地

氏 名 株式会社 加藤工務店

代表取締役 加藤 修一

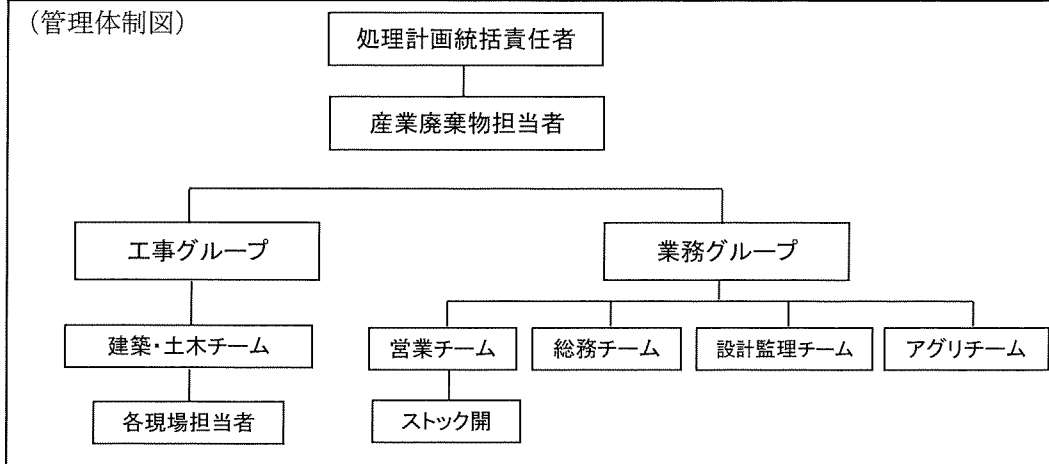
電話番号 055-921-2225

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 加藤工務店
事業場の所在地	静岡県沼津市大諏訪 885 番地
計画期間	令和 4 年 4 月 1 日 ~ 令和 5 年 3 月 31 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	大分類：建設業 中分類：総合建設業
② 事業の規模	前年度の完成工事高 20 億円
③ 従業員数	21 人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	 <pre> graph LR     A[各現] --&gt; B[収集運搬・処理委託契約]     B --&gt; C[委託処理 (中間処理・焼却)]     B --&gt; D[委託処理 (最終処分)]     B --&gt; E[売却(再生)]         </pre>

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 3 年度）実績】		別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	—	—	—
	排出量	— t	—	t
	(これまでに実施した取組) 受注する件数、工事の規模によって排出量の違いは出るが、 廃棄物の発生の抑制、再利用、再生利用を促進するよう努めている。			
②計画	【目標】		別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	—	—	—
	排出量	— t	—	t
	(今後実施する予定の取組) 各作業所における産業廃棄物の分別を徹底し、 再資源化及びリサイクル活動の強化に努める。			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 解体工事においては、再資源化に努め、現場にて分別可能な 木くず・石膏ボードは、産廃BOXを分けて処理を行っている。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記以外の建設混合廃棄物についての分別に努める。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項(第2面別表)

① 現状

単位 t

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	建設工事の木くず	繊維くず	建設工事の繊維くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	石膏ボード	がれき類	ALC(軽量気泡コンクリート)	コンクリートくず	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	建設混合廃棄物	新築系混合廃棄物	建設汚泥	ガラスくず(石綿含有)	廃プラスチック(石綿含有)	がれき類(石綿含有)	蛍光灯	特定有害産業廃棄物(飛散性)	合計
排出量	15.965	4.590	123.475	33.000	3.924	0.120	2.712	32.490	10.830	9.030	3.500	3.950	3820.440	134.390	12.272	28.470	2.210	0.520	7.700	86.500	11.480	46.916	0.220	16.200	4410.904

② 目標

単位 t

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	建設工事の木くず	繊維くず	建設工事の繊維くず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	石膏ボード	がれき類	ALC(軽量気泡コンクリート)	コンクリートくず	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	建設混合廃棄物	新築系混合廃棄物	建設汚泥	ガラスくず(石綿含有)	廃プラスチック(石綿含有)	がれき類(石綿含有)	蛍光灯	特定有害産業廃棄物(飛散性)	合計
排出量	15.167	4.361	117.301	31.350	3.728	0.114	2.576	30.866	10.289	8.579	3.325	3.753	3629.418	127.671	11.658	27.047	2.100	0.494	7.315	82.175	10.906	44.570	0.209	15.390	4190.359

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 実績はありません。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 予定はありません。		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) 実績はありません。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) 予定はありません。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 実績はありません。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 予定はありません。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	—	—	—	
	全処理委託量	—	t	—	t
	優良認定処理業者への処理委託量	—	t	—	t
	再生利用業者への処理委託量	—	t	—	t
	認定熱回収業者への処理委託量	—	t	—	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	—	t	—	t
	(これまでに実施した取組) 優良認定処理業者の委託処理量の割合を増やした。				



		【目標】	別紙のとおり	
②計画	産業廃棄物の種類	—	—	—
	全処理委託量	—	t	— t
	優良認定処理業者への 処理委託量	—	t	— t
	再生利用業者への 処理委託量	—	t	— t
	認定熱回収業者への 処理委託量	—	t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	—	t	— t
	(今後実施する予定の取組) 引続き優良認定処理業者への委託処理量を増やすよう努める。			
※事務処理欄				

